

令和2年度個別学力検査等（前期日程）

「英語（F）」 出題の意図

問題Ⅰ 英文和訳

(A)、(B)ともに「英語(A) に同じ」

問題Ⅱ 長文読解問題

「英語の容認発音（RP）」をテーマとする相当な長さの英文を読み、その要点を読み取ることができるかどうかを問う問題である。受験生が、高等学校で学んだ英語の基礎的な知識を踏まえて、高度な内容の英文を理解するための十分な訓練を積んできたかを試す。英語の能力のみならず、解答する際に、正確で明快な日本語を用いて説明や訳出を行うことができるかどうか問われる。

問題Ⅲ 自由英作文

「英語(A) に同じ」

問題Ⅳ 和文英訳

文部科学省の定めた指導要領の「書くこと」において求められている、まとまった考えや意図を適切な英語で表現できるかを問う問題である。今年度は、「思考」をテーマとするこなれた日本語を、自分の使える範囲の表現へと柔軟に置き換える能力も必要とされる。また、知っている単語をただ羅列するだけではなく、文法規則にのっとった正しい構文で書く事が求められる。普段の英語学習において、基本的な事項を確実にマスターして、英文を書く訓練をしていることが重要である。

問題Ⅴ 聴解力

「カタツムリの帰巢本能」についての英文を聞き、その要点を理解できているかどうかを問う問題である。設問で問われている部分の情報を、正確に聞き取っていく力が必要になる。また、解答は日本語で行うため、聞き取った情報を正しい日本語にまとめて表現する能力も求められる。